

アカデミック・スキルズ

M1-80008X1

1 ユニットの概要

これまで初等・中等教育においては、学んだ成果を証明するために主にペーパーテストを受けてきた。そしてむろんのことだが、医学生には医師国家試験という最後の関門が残っている。しかし、この関門をくぐれば、あとはペーパーテストで実力を試される機会はほとんどなくなる。では、社会において、医師や研究者はどのようなアウトプットを求められるのであろうか。

それは、プレゼンテーション（口頭発表）と論文である。社会に出た後では、科学研究の成果や新しい治療法の開発などについて、試験に正答することではなく、その情報を不特定多数の他者に直接伝達することが求められるのである。

口頭発表とは、相手に言葉と身振りをを用いて情報伝達することを指すわけだが、これについては大学基礎セミナー（BSS）で練習する。そして、アカデミック・スキルズ（AS）では主に後者の方、すなわち論文作成の練習を行う。

論文とは他者に学術情報を伝達する文章を指すわけだが、これは中等教育までに習ってきた作文と比べると、その書き方、言葉づかい、形式が全く異なっている。この講義では、論文を書くために必要な基礎知識を学び、講義の中でそれらを活用して論文作成を実際に行ってもらう。この論文作成はグループ活動を通してチームで一本書き上げることを目指す。

アカデミック・スキルズ（AS）では、講義テーマについて学生同士で議論することが求められる。他人の話をよく聞き、自分の考えを言葉にして伝えるという行為は、論理的な文章を書いていくための大切なトレーニングである。グループ討議への積極的な参加が望まれる。

また、将来カルテの作成が求められる医学生は、人体部位のデッサンを練習する機会を持つことが望ましい。「イメージ伝達力」を高めるために、プロの画家を招いて描画の練習も行う予定である（特別講義「メディカル・ドローイング」）。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技術（診療の実践）
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探究心

3 ユニットの学修成果（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 積極的に議論し、自分の考えを相手に伝えることができる。（①、②、④）
- 学術的に価値のある資料を選び、収集することができる。（②、③、⑥）
- 適切な日本語を用いて論理的な文章を作成し、発表することができる。（②、③、④）

4 方 略

毎週、何らかのテーマでグループ討議を行う。積極的に参加して、自分の考えを述べる。論理的な文章を書けるようになることが講義の目標だが、討議はそのためのトレーニングとなる。

論文やハンドアウトを作成する際は、自分たちの言葉で考えて書くようにすること。論理的な文章を作成することが講義の目的なので、手間をはぶいて生成AIを活用すれば実力が全くつかないので注意すること。この講義では、情報収集の目的以外で「生成AIを利用することは禁止」する。

5 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	レポート	知識・技能	
	出席状況	態度	
	授業態度	態度	
	小テスト	技能・態度	
	グループ討議	技能・態度	
総括的評価	ユニット試験	知識・技能	30%
	メディカル・ドローイング	技能・態度	10%
	レポート	知識・技能	20%
	実習成績（グループ活動）	技能・態度	30%
	小テスト	態度	10%
			%
合 計			100%

(特記事項)

【出欠】30%以上欠席した場合は、単位認定しない。【ユニット試験】(30点) 夏休みに作成したレポートを小論文形式で再構成させる。100点満点で採点し、30点満点に換算する。

【レポート】(20点) レポートの評価に当たって、正式な書式に従わない、明らかな「貼り付け(コピー&ペースト)」を見つけた場合は、これを剽窃(ひょうせつ)と見なす。剽窃(＝盗文)はカンニング同様の不正行為とみなされ、本科目は**即不合格**となる。また、生成AIの生み出した文章を張り付けた場合も同様に剽窃とみなす。レポートは、次頁のルーブリックに従って評価する(詳細は講義中に説明する)。【メディカル・ドローイング】(10点)「デッサン課題」(5点×2)を評価する。【実習成績】(30点) グループ活動を重視する。【小テスト(第26回)】(10点) 講義中にエッセイ課題「春学期の総括と展望」を課す。【授業態度】 講義への積極的取組を評価して、総合得点への加点・減点することがある。【再試験】 本試験の成績が60点未満だった場合、あるいは総合得点が60点未満だった場合に再試験を課す。

カテゴリー	評価内容			
	充分（２０）	適度（１５）	最低限（１０）	不合格 ０
コミットメント (主に序論)	問題提起の有無、意見表明(主張)の有無、問題への積極的な関わり			
説得力 (主に結論部)	本文要約の出来、自身の立場の明確性、 複眼的思考(Pros と Cons など)の考慮、 安易な結論の回避			
独創性 (主に考察部)	文献の切り貼りで終わっていない、問題提起に独自性がある、主張のオリジナリティ、考察が深い			
書式（論文の形式）	標準的な日本語の使用(だ・である体)、 適切な論文タイトル、 適切な注の挿入、 参考文献表の有無			
構造（全体の流れ）	目的にそった話題の配列、 論理的構造の明確さ、 起承承結の完成度、章ごとのタイトルセンス			
論拠（学術情報の検索能力）	信憑性の高い情報の選択、 段落ごとの情報源の開示、 バランスのよい証拠の提示(Prosばかり/Consばかり×)			
加点・減点	場合によって加点あるいは減点することがある			
レポート評価基準表(ルーブリック)				

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

- ・ Gクラスルームに講義資料をアップロードするので確認すること。
- ・ クリティカル・シンキング (CT) および大学基礎セミナー (BSS) (後期開講) との連携を重視する。クリティカル・シンキングで行う発問練習の成果を、本講義のグループ活動の中で活用すること。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習：60 分、 復習：60 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- ・ レポートは採点後に返却予定。時間と場所については講義中に連絡する。
- ・ メディカル・ドローイングの課題も返却予定。時間と場所については講義中に連絡する。

9 教育担当者

ユニット責任者： 本田 康二郎 一般教育機構 医療人文学

教 授 本田 康二郎 一般教育機構 医療人文学

非常勤講師 末松 智 歴史考証復元画家・金沢学院大学特任教授

10 参 考 図 書 ・ 文 献

購入すべき図書

特に指定しない。

購入するとよい図書

1. 佐藤望（編集）『アカデミック・スキルズ 第4版 AI時代の知的技法入門』 慶應義塾大学出版会、2026
2. 阿部幸大 『まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書』 光文社、2024
3. 坂本尚志『バカロレアの哲学 「思考の型」で自ら考え、書く』 日本実業出版社、2022
4. 戸田山和久『最新版 論文の教室ーレポートから卒論まで』 日本放送出版協会、2022
5. 井下千以子 『思考を鍛える レポート・論文作成法 第3版』 慶応義塾大学出版会、2019
6. 河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第4版』 慶應義塾大学出版会、2018
7. 植田一三・妻鳥千鶴子『英語で意見を論理的に述べる：技術とトレーニング』 ベレ出版 2004

第1学年

アカデミック・スキルズ

【BDグループ】

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
前	1	4月21日（火）	3	講義	ガイダンス／グループ交流	RE-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	2	4月21日（火）	4	講義	グループ交流	RE-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	3	4月28日（火）	3	講義	大学での学びとは何か	RE-01-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	4	4月28日（火）	4	講義	ノートの取り方	RE-05-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	5	5月07日（木）	3	講義	学術文献の探し方	RE-01-01-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	6	5月07日（木）	4	講義	文章読解の練習	RE-02-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	7	5月12日（火）	3	講義	文書要約のエッセンス	RE-01-01-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	8	5月12日（火）	4	講義	ハンドアウトの作成	RE-01-01-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	9	5月19日（火）	3	講義	レポートの書き方1 感想文と論証文	RE-01-01-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	10	5月19日（火）	4	講義	レポートの書き方2 してはいけない論証とは	RE-01-01-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	11	5月26日（火）	3	実習	レポート作成実習(1) テーマ設定	RE-03-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	12	5月26日（火）	4	実習	レポート作成実習(2) 「序論」の作成	LL-02-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	13	6月02日（火）	3	実習	レポート作成実習(3) 調査結果の報告	LL-02-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	14	6月02日（火）	4	実習	レポート作成実習(4) アウトラインの作成	LL-02-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	15	6月09日（火）	3	実習	班替え／グループ交流	PR-02-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	16	6月09日（火）	4	実習	レポート作成実習(5) アウトラインの再構成	RE-03-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	17	6月16日（火）	3	実習	レポート作成実習(6) アウトラインの再再構成	RE-03-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	18	6月16日（火）	4	実習	レポート作成実習(7) アウトラインの再再構成	RE-03-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	19	6月23日（火）	3	実習	レポート作成実習(8) アウトラインの発表	RE-04-01-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	20	6月23日（火）	4	実習	レポート作成実習(9) アウトラインの発表	RE-04-01-03	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	21	6月30日（火）	3	講義	レポートの書き方3 参考文献表の作り方	RE-04-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	22	6月30日（火）	4	講義	レポートの書き方4 注の入れ方	RE-04-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	23	7月07日（火）	3	実習	プレゼンテーションの技術	RE-01-01-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	24	7月07日（火）	4	実習	パワーポイントの使い方	RE-01-01-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	25	8月18日（火）	6	講義	今学期のまとめ	RE-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	26	8月18日（火）	7	講義	小テスト(春学期の総括と展望)	RE-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	27	8月25日（火）	3	実習	〔特別講義〕 メディカル・ドローイング(1)	PR-03-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授・末松非常勤講師
前	28	8月25日（火）	4	実習	〔特別講義〕 メディカル・ドローイング(2)	PR-03-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授・末松非常勤講師
前		8月29日（土）	2	試験	ユニット本試験			
前		8月29日（土）	3	試験	ユニット本試験			
前	29	9月01日（火）	3	実習	〔特別講義〕 メディカル・ドローイング(3)	PR-03-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授・末松非常勤講師
前	30	9月01日（火）	4	実習	〔特別講義〕 メディカル・ドローイング(4)	PR-03-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授・末松非常勤講師